

4. 学 校 紹 介

佐倉市立幼稚園

小学校

中学校

佐倉市立佐倉幼稚園



【園長先生から一言】

大正2年創立。園庭の大きなシンボルの「とちの木」。伝統の持つよさを生かしながら、子どもたちが豊かな体験を積み重ね、自信を持ち、安定した園生活を送れるよう、愛情と規律を持って育てていきます。また、保育園・小学校・中学校・高齢者・地域交流を積極的に進め人間関係を深めるとともに、言葉による伝えあいを大切にしていきたいと考えています。

【今年度の教育目標】

『幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する』

- ◎明るく元気な子ども（正しい挨拶ができる子）
- ◎最後までがんばる子ども（先生や友達の話をきちんと聞ける子）
- ◎みんなと仲良くできる子ども（お礼やお詫びの言葉を正しく言える子）

佐倉市立和田幼稚園



【園長先生から一言】

本園は昭和48年に創立し、今年度で36年目となります。緑豊かな自然に囲まれた田園地帯の中に位置しています。また、和田小学校とも併設しており、避難訓練・運動会などの行事を合同で行っています。特に1・2年生との交流は多く、幼稚園・小学校行事に互いに参加したりと交流し、幼小のスムーズな接続を図っています。また、地域の2・3歳児に園開放日を設け、子育て支援をしています。

【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる。』

- 心身ともに健康な子ども（健康・たくましい）
- 明るく情操豊かな子ども（明るい・やさしい・感動する）
- 友達となかよく遊べる子ども（思いやり・協力する）
- 我慢強い子ども（よく考える・努力する）

佐倉市立弥富幼稚園



佐藤園長

【園長先生から一言】

本園は在籍数12名と小規模の幼稚園です。弥富小学校と併設しているため、合同で実施する行事が多くあります。園庭が広く四季折々に花が咲く樹木が植えられており、素晴らしい環境のなか、地域の2、3歳児の交流も深めています。幼稚園、小学校、2、3歳児との連携を計画的に行うことで、小規模園ならではの特徴を生かした保育をし、人間関係の幅を広げながら、伸び伸びと育てていきます。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な幼児を育てる」

◎こころのやさしい子

- ・思いやりがある子ども
- ・協調する子ども
- ・生命の大切さがわかる子ども
(生活の中で道徳性の発達を促す)

◎たくましい子

- ・元気に遊ぶ子ども
- ・自分のことは自分でできる子ども
- ・頑張りのきく子ども
(心身の健康や体力と幼児自身の自立)

佐倉市立佐倉小学校



平山校長

【校長先生からの一言】

学校力を高め、子ども主体の教育活動を行い、地域から信頼される学校創りを目指す。

- ①きめ細かな対応ができる学校
 - ②質の高い教育力がある学校
 - ③地域・住民とともに歩む学校
 - ・組織で動く。
 - ・常に工夫、改善を意識する。
 - ・保護者の学校に対する関心を高める。
- 広報活動を充実させ、歴史と伝統の中で616名の子どもたちを、大きく育てます。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をそなえた、心豊かなたくましい子どもの育成』

◎まごころ教育の推進

「まごころ」教育を教育活動の基本とし、知育・徳育・体育の調和がとれた人間性豊かな児童の育成をめざしています。

—望ましい児童像—

- よいあいさつをする子
- すすんで学習する子
- すすんで体をきたえる子
- なかよく助け合う子

佐倉市立内郷小学校



【今年度の教育目標】

『次代を拓きたくましく生きる、心豊かな児童の育成』

《めざす学校像》

保護者・地域に信頼され、ともに歩む学校



篠田校長

【校長先生からの一言】

本校は印旛沼の南にあり、豊かな自然と岩名運動公園、草ぶえの丘、国立歴史民俗博物館、佐倉ふるさと広場などの公共施設に恵まれた、申し分のない学習環境の中にあります。地域の皆さんが昔から学んできた学校として、宝物のように大切にされ、昨年満100歳を迎えることができました。このような環境と地域に育った子どもたちは、とても元気で明るく、思いやりがあります。

《めざす児童像》

- 進んで学ぶ子 (知)
- 心のあたたかな子 (徳)
- 元気に体をきたえる子 (体)

佐倉市立臼井小学校



高橋校長

【校長先生からの一言】

臼井小学校は、印旛沼の畔にあり、豊かな自然に恵まれ、また、歴史も古く、地域には、臼井城址、宿場町としての歴史を語る道標などもあります。これらを活かした、歴史学習や、自然とふれる学習など、素晴らしい体験を通した学びができます。元気一杯、やさしさ一杯の子どもたちを、地域全体で見守る体制もしっかりできています。地域を愛し、自分から進んで取り組む子どもたちを育てる学校をめざします。

【今年度の教育目標】

『かしこい子どもの育成』

めざす児童像

- 勉強する子 (読み書き計算が得意で、学び方を身につける子)
- やさしい子 (みんなと仲よしで、お年寄りや小さい子にやさしくする子)
- 元気な子 (明るく元気で、体を鍛える子)

佐倉市立印南小学校



江尻校長

【校長先生からの一言】

印南小学校は慶応元年に成徳書院郷校として作られた学校で、144年の歴史のある学校です。現在では県教育委員会の体力モデル校の指定を受け、自ら運動し、共に体力を高めていく体育学習のあり方という研究を深めながら3年目を迎えています。今年はそのまとめとして、11月に研究公開を実施する予定です。体育を通して、一人一人が輝く楽しい学校を目指していきたいと思います。

【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する、たくましい印南っ子」

- 《めざす児童の姿》一人一人が輝く楽しい学校
- ・考える子（進んで学び、豊かに表現できる子）
 - ・思いやる子（やさしく思いやりのある子）
 - ・元気な子（心も体もたくましい元気な子）

重点目標

- ・基礎基本、学力の定着
- ・ふれあい活動の充実
- ・運動に親しむ態度や能力の育成
- ・勤労観の育成
- ・佐倉学を中心とした人材の活用

佐倉市立千代田小学校



加曽利校長

【校長先生から一言】

開校137年目を迎える千代田小学校は新旧の「歴史」「自然」「地域」が程よく融和した環境の中にあり、子どもたちにとってこの上ない教育環境が整えられています。校内には自然が豊かで、常に子どもたちの元気な声が響き渡り、活気ある姿が常に見られます。

本校は早くから「国際理解教育」に取り組み、オランダの小学校との交流は国際理解・外国語教育の実践の場となっています。

【今年度の教育目標】

『かしく、やさしく、たくましい子の育成』 = 夢と希望を笑顔で語る千代田の子 =
＜今年度の重点＞

- 学習指導をさらに充実する。（基礎基本事項の徹底理解）
- 基本的な生活習慣の定着を図る。
- 話し合い活動を見直し、自治活動を活発化させる。
- 算数科の研修を通して教師の指導力向上、児童の表現力育成を図る。
- 小中学校の連携を図る。
- 新教育課程への移行を推し進める。

佐倉市立上志津小学校



【校長先生からの一言】

多くの自然に囲まれ、幹線道路から離れているため、学習環境としては最適です。

学校の自慢は、元気のある子どもたちです。また、給食が大変おいしく、食材を僅かながら子どもたちが栽培していることです。

今年度は、子どもたちが「毎日お土産を持ち帰れる学校」づくりを保護者・地域の温かい協力や支援を得ながら進めていきます。

また、外国語活動35時間に取り組みます。

【今年度の教育目標】

「豊かな心をもち、自ら学ぶ意欲のある児童の育成」を教育目標にして、「かがやけ上志津っ子」達成のための4つの児童像（かしこい子、がんばる子、やさしい子、けじめのある子）を掲げました。確かな指導と豊かな愛情をもととしながら、「共に」伸びる子ども・教職員集団の育成を図り、地域の期待に応えられる学校づくりをします。

また、特別支援教育の良さを全職員で共通理解し、より一層児童・保護者が個に応じて安心して学べる環境・体制づくりを進めます。

佐倉市立志津小学校



【校長先生からの一言】

今年度、創立136年目を迎える志津小学校です。明るく素直で元気に挨拶できる子どもたちです。保護者、地域の皆様方は積極的に学校を支援してくださっています。各防犯団体の方々による子どもの見守り活動、ボランティアの方々による本の貸し出し、修理、読み聞かせの活動を始め、PTA活動もさかんです。

私たちは、社会に出るための基礎をしっかりと子どもに身につけさせたいと思います。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性を育み、自分の良さや個性を見つけ、共に伸びようとする児童の育成」
しづっこ（志津っ子）－『し』っかり聞いて話せる子『づ』つながりを大事にする子

『っ』つよい体をつくる子『こ』こころ配りのできるやさしい子－

教育目標を「しづっこ（志津っ子）」と関連させて指導してきた結果、これらが児童に浸透してきています。昨年度の学校評価でも、『し』「しっかり聞いて話せる子」にまだ課題があることが分かり、今年度も、「しっかり聞く」ということと「自分の考えを話す、表現する」ということに力をいれて指導していきたいと思ひます。

佐倉市立下志津小学校



【校長先生からの一言】

合言葉は「レッツ・チャレンジ下志津の子」～遊ぼう・学ぼう・仲良くしよう～。
様々な教育活動の場面にその片鱗が垣間見られます。

「今日は学校で、これを学んだ」と子どもが自覚できるようにして、家路につかせてあげたい。「子どもは未来への旅人」と言われます。旅には種々の土産がつきものであります。今、学校に求められているのは「生きる力」という土産ではないかと思えます。

【今年度の教育目標】

『たくましい気力と思いやりを持って活動できる児童の育成』

【めざす児童像】

- ①進んで学習する子 ②仲良く助け合う子 ③進んで身体をきたえる子

【経営の重点】

- ①学習指導の充実を図る（わかる授業の実践、移行措置の円滑な実施）
②生徒指導の充実を図る（児童理解と教育相談活動の充実）
③特別支援教育の充実を図る（特別支援教育推進委員会の活性化）

佐倉市立南志津小学校



【校長先生からの一言】

緑豊かで広い校庭ときれいな花が咲き誇るうおいのある学校で、今年で開校36年目を迎えました。地域推進会議を中心に地域活動への児童

参加、学校教育への地域住民参加という相互交流により教育活動の充実を図っています。子どもにとって安全で安心な学校、楽しくて魅力的な学校づくりを推進します。あたりまえのことがあたりまえにできる子どもの育成を推進します。

【今年度の教育目標】

『心豊かで、たくましい児童の育成』

明るく元気にあいさつできる子ども（**元気**）・自ら進んで力いっぱいがんばる子ども（**やる気**）・最後まであきらめずにやり抜こうとする子ども（**根気**）・相手の立場になって思いやり、友達となかよくできる子ども（**優気**）

めざす児童像はこの4つの「気」、言い換えれば知・情・意・体の調和のとれた子どもの育成が主眼です。そのためには「子どもの視座」を常に意識した教育活動を展開します。

佐倉市立根郷小学校



【校長先生から一言】

正門を通り抜けると、創立125周年記念の石碑に刻まれている「進取の心」の校訓が目飛び込んできます。

この歴史と伝統のある「進取の心」を学校経営の柱とし、子どもたちには「佐倉学」の学習を通して、先人の生き方や郷土に誇りを持つ心を育てます。

また、「根郷子ども宣言」の実践化を図り、本校創立138年目を629名の児童と共に築いていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『実践力のある個性たくましい児童の育成』

- ①花がいっぱい・・・花が咲き、まわりが整った清潔できれいな学校
- ②笑顔がいっぱい・・・明るい挨拶を交わし、声をかけ合いながら協力し合う子どもがいっぱいの学校
- ③やる気がいっぱい・・・喜んで登校し、元気に運動したりはりきって学習したりする子どもがいっぱいの学校

佐倉市立和田小学校



【校長先生からの一言】

佐倉市南部の豊かな自然の中の学校です。三世代同居の家庭も多く、人への思いやりがあり、元気なあいさつができる子どもたちです。児童数は96名ですが、和田幼稚園を併設し、幼小や異学年の交流を行っています。今年度、特別支援教育を開始し、支援を必要とする個に応じた教育も進めていきます。来年度には創立百周年を迎え、PTAや地域と連携して、大きな節目の年の学習を進めてまいります。

【今年度の教育目標】

- 1 学校教育目標 心豊かに生き生きと活動する児童の育成
『みんな なかよく たくましく』
- 2 めざす児童像
 - 【和】 わかるまで根気よく学ぶ子
 - 【田っ】 たくましく体をきたえる子
 - 【子】 心やさしい思いやりのある子

佐倉市立弥富小学校



高野校長

【校長先生から一言】

本校は農村地帯にあり協力的な地域の人々と豊かな自然に恵まれています。まさに地域に支えられている地域立の学校です。平成20年度に市内どこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、弥富地区以外から9名の転入学がありました。全校児童72名という少人数の利点を生かし、特に算数では一人一人の児童にきめ細かな個別指導を充実させ学力の向上を図ってまいります。

【今年度の教育目標】

『学び合う子』——感じる 考える 関わる——

日常生活全般の中で、五感を通して疑問を持ち、課題解決のために情報を取捨選択し、考えたことを言葉や文字に表現し、他と関わり互いに磨き合いながら自他の尊重、協働の精神を涵養してまいります。

【今年度の重点目標】

1. 明るい挨拶、元気のよい返事ができる子どもを育てる。
 2. 常にめあてを持ち、時と場に応じた適切な行動をすることができる子どもを育てる。
- ※弥富小学校で学んで本当に良かったと評価される学校を目指します。

佐倉市立井野小学校



木原校長

【校長先生からの一言】

「長割の 若葉の丘に 集まりて」、これは本校校歌の一節です。縄文後晩期（4000年～3000年前）の遙か昔が偲ばれる井野長割（いのながわり）遺跡（約66,000㎡）が眠るなだらかな丘、ちょうどその中心に建つ珍しい学校で、井野っ子山と称して子どもたちの夢を育んできた学校林も今は国指定史跡の一部。見上げるほどの「コナラ」や「クヌギ」の雑木林が歴史を語り伝える学校でもあります。

【今年度の教育目標】

『生きる力を自ら積み上げる井野っ子の育成』

目指す児童像

- ◎夢を持ち、やる気がいっぱいの子ども（楽しく学ぶ子）
- ◎気づいて行動し、誠実に取り組める子ども（気づき行動する子）
- ◎友達を大切にし、笑顔のあふれる子ども（やさしい子）

努力点（達成目標）

- ・言葉を丁寧に学ぶ子にします。（七五三読書、群読、長割俳句）
- ・返事、挨拶のしっかりできる子にします。（井野っ子粋な仕草、55運動）
- ・仲よし遊びで心身を鍛える子にします。（みんなの時間、縦割り活動）

佐倉市立佐倉東小学校



森田校長

【校長先生からの一言】

今年35周年を迎える東小の自慢は広い校庭、そこで思い切り体を動かしている子どもたちがいます。そして「なかよし」を合言葉に全校の児童がふだんの生活や行事でよく交わっていてやさしい気持ちを育てています。昨年は市内の相撲大会で2連覇、今年も連覇をねらいます。また「地域」との結びつきが強く、「ガードパトロール」の皆さんが毎日学校を守ってくださいます。

【今年度の教育目標】

『人間尊重の精神に富む豊かな心と正しい判断力をもち、
進んで学び実践できる児童の育成』

○目指す学校像 花が咲くきれいな学校
挨拶が交わされる学校
笑顔があふれる学校
やる気がいっぱいの学校

○目指す児童像
進んで学習に取り組む子
仲良く助け合う子
進んで運動する子

佐倉市立西志津小学校



松田校長

【校長先生からの一言】

本校の特色は「読書」と「合唱」です。千人を超える児童が物音ひとつ立てずに一斉に取り組む朝の読書と保護者や地域の方々が1700人余りも来校して繰り広げられる図書まつりは圧巻です。そして、年6回開かれる歌声集会では、1100人のパワーあふれる全校合唱と旋律の美しい学年合唱が体育館中に響き渡り、聴く者に感動を与えてくれます。「百聞は一見にしかず」ご来校をお待ちしています。

【今年度の教育目標】 『思いやりのこころをもち 知性豊かなたくましい子ども』

求める児童のすがた

おもいやり：友達の痛みが分かる。自己主張だけでなく、進んでみんなのために働ける。時と場に応じた丁寧な言葉遣いや行動（あいさつ）ができる。

学びあい：自分の考えを友達に伝えたり、比較したりできる。友達の良いところに目を向け、友達から学ぼうとする。意欲的に新しいことに取り組む。

たくましさ：夢や目標に向かって、最後まで諦めずに取り組む。外遊びが活発にできる。失敗をおそれずに常に挑戦する気持ちを忘れない。

佐倉市立小竹小学校



阿波崎校長

【校長先生からの一言】

豊かな自然に恵まれ、いつもきれいな花がいっぱいで美しい教育環境の中で、子どもたちが元気いっぱいに校庭で活動している姿にうれしくなります。校歌にある『翔ぶぞ世界の空に』のように、未来に夢を描いて学び、自分を高めていって欲しいと願っています。

明るくきれいな学校、美しい歌声の響く学校にみんなで築いていきたいと思えます。そして児童の瞳の輝く学校にしたいです。

【今年度の教育目標】

『夢をもち、たくましく生きる心豊かな小竹っ子の育成』

めざす小竹っ子像を「元気な子」「やさしい子」「考える子」として、子どもたちが生き生きしている学校、教師が磨きあい努力している学校、保護者や地域社会に応えられる学校になるように取り組んでいきます。また、幼小中高校との連携を大切にして、信頼される学校作りに取り組めます。また、知・徳・体の調和のとれた発達を促し、健康で明るくたくましい力と向上心をもった心豊かな児童の育成を図っていきます。

佐倉市立間野台小学校



櫻井校長

【校長先生からの一言】

創立29年目を迎える市内では唯一、緑豊かな公園が併設されて子どもたちの“学び場”そして地域住民の“憩いの場”になっており地域社会との連携を推進するコミュニティースクールとして期待され実践している学校です。子どもたちが笑顔を絶やすことなく、感謝の気持ちと感じて動ける態度が育つ間野台ファミリーをめざします。地域の方々のボランティア活動に支えられて明るく元気に育つ子どもたちです。

【今年度の教育目標】

『心豊かで進んで学ぶ、心身ともにたくましい子どもの育成』

子どもの“よさ”や“可能性”を引き出し、自尊感情を高めつつ、意欲をもって自己実現をめざして学ぶ、心身ともに健やかな子どもたちの成長を、また明日が待ち遠しくなるような学校づくりをめざします。

《めざす児童像》 「仲良く助け合うやさしい子（よりやさしく）」
「進んで学びよく考える子（よりかしこく）」
「体をきたえる元気な子（よりたくましく）」

佐倉市立王子台小学校



【校長先生から一言】

本校は住宅地にありながらも近くには豊かな自然が残されており、教育環境に恵まれた学校です。学区内の様々な専門的知識を持った方がボランティアとして、子どもたちの学習を支援していただいています。王子台小学校に学ぶ全ての子どもたちには、切磋琢磨しながら自分の能力を伸ばすと共に地域の一員としての自覚を持ち、人との関わりを大切にし、思いやりのある人になってほしいと願っています。

【今年度の教育目標】

『一人一人のよさが発揮でき、学ぶ喜びを感じる楽しい学校づくり』

～思いやりの心を持ち 知性豊かなたくましい児童を育む～

—めざす児童像—

思いやる子 (自分を大切にし、お互いを認め合い、支え合う子)

学び合う子 (自ら学びよく聞き、考え、自分を高めようとする子)

たくましい子 (自分の健康に気づき、運動に親しみ、心身ともに成長する子)

「教育は人にあり」を基本理念として、地域や保護者の期待に応えられる教師集団を構築していきます。子どもたちを「知・徳・体」のバランスのとれた人間を育むために、全職員が知恵を出して教育を推進していきます。

佐倉市立青菅小学校



【校長先生から一言】

本校は、自然に恵まれた学校・保護者・地域が一体となった大変温かい雰囲気にも包まれた学校です。『おはようございまーす』子どもたちの元気なあいさつから青菅小学校の一日がスタートします。本校は、全校児童を10班に分けて活動する縦割り班活動、「田植え」「干し柿作り」など地域の方との世代間交流、ユウカリ苑や優都苑との交流を通じた福祉教育の実践が特色です。教師と児童の心の通い合う人間関係を作り、思いやりのある児童を育てていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる児童の育成』

<めざす児童像>

あ→明るいあいさつができる子

お→おもいやりのある子

す→進んで学ぶ子

げ→元気に運動する子

<めざす学校像>

厳しさと愛情で一人一人を大切に育てる学校。保護者や地域に信頼される学校。

児童がいきいき活動する学校。安全できれいな学校。

佐倉市立寺崎小学校



大嶋校長

【校長先生から一言】

通常学級12、特別支援学級1、全校児童数375名でのスタートです。年々少しずつ児童数が減少する中、保護者の皆様や地域の方々に信頼される学校をめざしています。信頼とは、人と人の心が決めるもの。職員一人一人が子どもたちの幸せのために、誠実な職務の遂行を心がけます。また、新学習指導要領実施に向けての移行1年目の今年度、二期制を導入して充実した学校生活の実現をめざします。

【今年度の教育目標】

『徳育・体育・知育の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

《めざす児童像》

- ・ 礼儀正しく温かい心を持った子ども（豊かな心情と明るい社会性）
- ・ 健康で体力・気力のある子ども（健康な心身とやりぬく実践力）
- ・ 知的探求心の旺盛な子ども（確かな学力と発展する問題解決能力）

佐倉市立山王小学校



川上校長

【校長先生から一言】

本校は平成元年に根郷小より分離独立して創設、昨年20周年記念事業を行いました。周辺環境との調和、明るくゆとりある空間をもつ校舎等、恵まれた教育環境のもとで子どもたちはのびのびと学習活動に励んでいます。

スクールカラーは「コバルトブルー」、隣接の敬愛短大との交流や全校縦割り班による常時活動など、本校・地域の特性を活かした教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をもち心豊かでたくましい児童の育成』

【めざす児童の姿】

- ①健康でがんばる子ども
- ②思いやりのある子ども
- ③進んで学び、よく考える子ども

【児童との合い言葉】

- ①明るいあいさつ元気のしるし
- ②だまってそうじピッカピカ
- ③しっかり聞いて最後まで

佐倉市立染井野小学校



【校長先生から一言】

本校は、オープンスペースのよさを活かし、学年経営を重視した教育活動を実践しています。また、保護者、地域の皆様のボランティア活動が活発で、子どもたちのために多くのご支援を頂いております。

よい環境の中で、子どもたちがいきいきと学習に励んでいます。さらに、たくましさ具备了子どもたちに育てられるように、職員が一丸となって指導にあたっております。

【今年度の教育目標】

『よりよい生き方をめざし進んで学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成』
「生きる力」の基盤となる「豊かな心」の育成と、自らのめあてに向かって主体的に取り組み、どんな困難なことにも逃げることなく乗り越える「たくましさ」の育成に努める。めざす児童像は次の5項目をあげる。①明るい挨拶をし、友達と仲良く協力し合う子②美と清潔を愛し、心をこめて仕事をする子③周りの人の気持ちを考えて行動する思いやりのある子④よく学び、努力によって力を高める子⑤体を鍛え、健康・安全につとめる子。

佐倉市立白銀小学校



【校長先生から一言】

開校以来、「学校運営委員会」等5つの委員会を順次設け、子どもたちを学校・保護者・地域住民が一体となって育み、地域コミュニティの核となる学校づくりをめざしています。昨年度から、文部科学省の委託を受け、「コミュニティ・スクール」の調査研究に取り組み、一層の充実化を図ります。今年度は、学びの質の向上のため、日課表を改善するとともに、バランスのとれた教育を推進し、「将来のよき市民」を育成します。

【今年度の教育目標】『自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成』
かしこく：学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ態度を育成するとともに、多くの人に学ぶ経験を大切にし、「学んだ力を活かす子」の育成をめざします。
なかよく：地域の人々とのふれあいや全校縦割り活動、各種体験活動などを通して、人と接することのよさを実感し「社会生活に生きる力」の育成をめざします。
元気よく：家庭教育との連携を図り、自ら進んで体力や健康の増進に努める態度を育み、「生涯体育や健康づくりに生きる力」の育成をめざします。

佐倉市立佐倉中学校



【校長先生から一言】

佐倉中学校は、昭和22年、旧軍隊の兵舎を校舎に開校しました。現在地へは昭和32年に移転し、その校舎も老朽化し、平成18年に第3棟校舎を解体し、今年11月の新校舎完成を待っています。佐倉城址の一郭にある学校で、歴史や文化、豊かな自然に囲まれた中で、学習や諸活動、行事に意欲的に取り組んでいます。

【今年度の教育目標】

「校訓『好学進取』のもと、自ら学び、自ら考える力をそなえた、心豊かなたくましい生徒の育成」

<めざす生徒像>

- 進んで学び、進路に向けて努力する生徒
- 自他ともに大切にして生活する生徒
- 奉仕の心で進んで働く生徒
- 礼儀正しく、きまりやマナーを守る生徒
- 健康・体力づくりに励む生徒

佐倉市立志津中学校



【校長先生から一言】

志津中学校の生徒たちは、学習活動に、行事に、部活動に常に全力で取り組む活力あふれる生徒集団だと言えます。「行事に燃える志津中生」が合い言葉になっており、日常活動で自分を高め、行事などで最高に自分を発揮しようと努力をしています。今年の夏からは、約40年間の時を刻んできた体育館の解体新築工事が始まります。これまでの伝統に加え清新さを加味した志津中学校を目指していきます。

【今年度の教育目標】

進んで学び、心豊かなたくましい生徒の育成

- 〈進んで学ぶ生徒〉 ○授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒 (勤勉)
- 自分の進路に向けて努力し続ける生徒 (進路)
- 〈心豊かな生徒〉 ○礼儀正しく、自他共に大切にす生徒 (礼儀・思いやり)
- よく働き、人に尽くす生徒 (勤労・奉仕)
- 〈たくましい生徒〉 ○きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒 (強い意志)
- 健康・体力作りに励む生徒 (健康・体力)

佐倉市立上志津中学校



安西校長

【校長先生から一言】

私が新米教員だった頃の本校は、勉学にスポーツに秀で印旛地区全域からも一目置かれる存在でした。今もその伝統が息づいていますが、往年の本校以上の学校にしたいと考え、教職員と生徒に合い言葉として「上志津中ルネサンス」を掲げました。また、地域の方々や保護者の団結が強く、下志津小と南志津小との連携も強固なので、地域コミュニティが一丸となって健全な生徒を育成したいと思います。

【今年度の教育目標】

『新しい時代にたくましく生きる力の育成』

めざす生徒像として、①あいさつをする生徒、②時間を守る生徒、③人の話を聞く生徒、④清掃をする生徒、⑤正しい言葉遣いをする生徒の5項目を定めております。課題は更なる学力の向上です。そのためには授業改善を図ることが急務と考えております。授業のねらいをはっきりさせた上で、導入を工夫しながら授業を組み立てるようにして参ります。また、心豊かな思いやりのある生徒に磨きをかけるため、上記5項目を「他人のために行う」視点でより具体的に指導して参ります。

佐倉市立南部中学校



勝田校長

【校長先生から一言】

南部中学校は、来年度創立50周年を迎える伝統校です。生徒は豊かな自然に囲まれた広い校地で、学習に励んでいます。本校では、生徒が自ら活動の場を広げ、多くの人と交流する下地をつくるために、「明るいあいさつ、大きな返事、さわやかな歌声」を生徒に求めてきました。また、生徒の集中力を高めるために行う無言清掃は、本校教育の特色となっています。

【今年度の教育目標】

『勉学に精励し、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

《めざす学校像》

生徒が存分に自己の能力を磨くことのできる学校

～生徒にとって、居心地のよい学校～

私たち南部中職員は、「すべての子どもはよりよく生きたいという願いを持つ」という子ども理解を基本とし、一人一人の子どもの願いを満たすことのできる学校づくり（生徒にとって居心地のよい学校づくり）をめざします。

《めざす教師像》

①面倒見のよい教師

②高い専門性を持つとする教師

③いつも元気であろうとする教師

④いつも謙虚であろうとする教師

佐倉市立臼井中学校



【校長先生から一言】

いつも「おはようございます」の元気な声が響き渡り、春先にはウグイスの鳴き声が聞こえる素敵な学校です。

生徒みんなの表情は穏やかで、伝統的に部活動が盛んです。清掃活動にもしっかり取り組んでいます。今年は、特に『活気のある学校』を目指したいと思っています。このことにより、学習に対しても積極的になり、学力面や文化・体育面でも更なる向上を期待しています。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた、自己を生涯にわたって教育しつづける意思や能力を持った心豊かで、たくましく生きる力を身につけた生徒を育成する。』

- (1) うつくしい学校づくりをめざし、思いやりに満ちた生徒を育てる。
- (2) すすんで学習し、学ぶ喜びを身につけた生徒を育てる。
- (3) いつも主体的に考えて行動するとともに、良さを生かす生徒を育てる。
- (4) 仲間と協力し、助け合える社会性豊かな生徒を育てる。

佐倉市立井野中学校



【校長先生から一言】

「明るい挨拶」「響く歌声」「きれいな校舎」「はつらつ健康」「高い学力」の伝統を受け継ぎ、さらなる発展を目指します。28年に及ぶ歴史

が地域の人々との深い絆を形成し、地域の中に生きる学校づくりの支えとなっています。

今年も、恵まれた校地を活かし、充実した学習・部活動を展開し、さらなる飛躍を期待します。常に、発展し続ける井野中であってほしいと思います。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

他と共に生きていることを実感する体験や、わかる・できる喜び、楽しさの体験を通して、生徒の夢や希望を育むと共に、生徒と共に成長し続ける教師・学校づくりを目指します。

- (1) めざす生徒像 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒
- (2) めざす教師像 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師
- (3) めざす学校像 地域の中に生きる学校

佐倉市立佐倉東中学校



小原校長

【校長先生から一言】

佐倉東中は、今年度で創立23年目を迎えました。周囲が緑につつまれ、野鳥のさえずりが聞こえる落ち着いた環境にある学校です。

特に、春の時期は校門から校舎に至る坂の桜は見事です。私たちはこの坂を桜坂と呼んでいます。本校は今年度から二期制（前後期制）を導入し、創意ある学校づくりをめざしています。また、新学習指導要領移行の趣旨を活かしながら、文武両道をめざして生徒・職員ともに教育活動に取り組んでいます。

【今年度の教育目標】

『心豊かで、生きる力をそなえた生徒の育成』

～確かな学力 豊かな心 健やかな体 の調和をめざして～

《めざす学校像》

- ・ 明るい挨拶のあふれ、活気に満ちた学校
- ・ 思いやりの心・健やかな体を育てる学校
- ・ 美しく、整った環境につつまれた学校
- ・ 日々の教育活動が充実した学校
- ・ 歌声の絶えない、うるおいのある学校
- ・ 家庭、地域としっかり結びあう学校

佐倉市立臼井西中学校



宗津本校長

【校長先生から一言】

緑豊かな水田と木々に囲まれた本校は、創立22年目を迎えました。子どもたちは、明るく素直で、いつも元気の良い爽やかな挨拶ができます。

全職員「生徒のためになるか」を基準にして、生徒の自己実現を図るため最大限努力をしています。今年度は基礎学力の向上とともに「表現力」の育成に努め、授業の改善と工夫を図ります。また、家庭・地域と連携を図り、子どもの安全確保に努めたいと思います。

【今年度の教育目標】

「自ら学び、自主的・自律的に生きる心豊かでたくましい生徒の育成を図る」を基本目標に、めざす生徒像を、「①よく学習する生徒、②礼儀正しい生徒、③よく働く生徒、④心のやさしい生徒、⑤よく運動する生徒」とし、めざす学校像を「①しっかりと学びが保障されている学校、②いじめのない安心できる学校、③地域とともにあり、信頼される学校」、めざす教師像を「①使命感に燃え、常に愛情を持って生徒に接する教師、②ロマンを持ち、アイデアを生かし、率先して行動する教師、③授業に全力を尽くし、信頼され慕われる教師」としています。

佐倉市立西志津中学校



大塚校長

【校長先生から一言】

本校は創立22年目を迎え、生徒主体に行う行事やボランティア活動は、本校のよき伝統となっています。その上に立って、新たな伝統を築き上げていこうと日々生徒は、目標を持ち、学習や諸活動に、一生懸命に取り組んでいます。さらに全職員が一丸となって「生徒にとって通いたい学校、保護者・地域にとって通わせたい学校、職員にとって生きがいがある学校」にしていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『学ぶ喜びを知り、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

[めざす学校像]

- ① 明るく秩序のある学校
- ② 「文武両道」をめざす活気ある学校
- ③ 礼儀正しい言動ができる学校
- ④ 個々の生徒の良さを認め、伸ばす学校
- ⑤ 美しい歌声が響く学校
- ⑥ 教育環境を大事にする学校
- ⑦ 小学校との連携及び家庭・地域社会との連携を大切にする学校

佐倉市立臼井南中学校



川島校長

【校長先生から一言】

創立15年目を迎え、「学校は地域コミュニティの中核である」を基本理念として、「地域との協働による学校運営」を目指しています。34名の教職員は、「すべては子どものために」を合い言葉に日々教育活動を展開しています。静かで緑豊かな環境の中で、410名の生徒は「あいさつ」を大切に、高い「向上心」をもって将来の夢の実現に向け、明るくのびのびと学校生活を送っています。

【今年度の教育目標】

『高い知性としなやかな感性を身につけ、たくましく生きる生徒の育成』

- 1 学校生活や社会で役立ち、人生を豊かにする「生きた学力」を育てる学校
 - 2 心身とも健康で、人生をよりよく生きるために必要な豊かな心と健やかな体を育む学校
 - 3 地域とともに歩む学校
- <めざす生徒像> ○好學進取 ○自主・自律 ○健康 ○共生と社会貢献

佐倉市立根郷中学校



ホームページ: <http://www.catv296.ne.jp/~nego-jh/>



井上校長

【校長先生から一言】

佐倉市で最も若い中学校です。校舎は佐倉南図書館と繋がっており、読書活動の充実に好影響をもたらしています。

本校は福祉教育に重点をおいており、隣接の福祉施設や千葉聾学校との交流をはじめ、福祉に関する講座を教育課程に組み込み、豊かな心を育成しています。

【今年度の教育目標】

『心豊かに表現できる生徒の育成』

- 自らの考えや思いを言葉や文字で、さらに行動で豊かに表現できる生徒
- 信頼される学校
- 根郷中の教育に責任を持つ教師

この3つの観点に重点項目を設け、教育目標の実現を図ります。「心がかようさわやかな挨拶」「すがすがしい返事」「心までも磨く清掃」を最重要指導項目としています。